野村 IR 資産運用フェア 2019【新春】ブースアウォード受賞企業決定のお知らせ

野村 IR 資産運用フェア 2019【新春】は 2019 年 1 月 11 日（金）・12 日（土）の 2 日間にわたり、東京国際フォーラムにおいて開催され、出展企業をはじめとする関係者の皆様のご尽力・ご支援のもと、無事閉幕することができました。

当日は上場企業・ETF 運用会社など５６社、投資信託運用会社 11 社等、計 67 社が出展し、企業ブース展示や講演会、会社説明会が実施されました。2 日間合計で延べ 12,195 名の個人投資家の皆様が来場され、多くの説明会や講演プログラムに参加。会場は熱気に包まれ、例年を上回る盛況なイベントとなりました。

ご来場者様、そしてご出展いただきました企業の皆様に改めて御礼申し上げるとともに、より良い投資家向けイベントの開催に向けて一層の努力を重ねてまいる所存です。今後とも末永くご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

そして今回、個人投資家が選ぶ「野村 IR 資産運用フェア 2019【新春】ブースアウォード」の受賞企業が決定しましたのでご報告いたします。

近年 IR における情報開示の手法やアプローチ方法は多様化してきています。実際に本 IR フェアにおいても、旧来の IR 手法では充分に伝えきれなかった企業の特長や強み、成長性等について、ブースづくりや展示、プレゼンテーションを通じて、各企業様が様々な工夫を凝らしてお伝えしていこうという熱意を感じていただけたことと思います。なかでも今回の受賞企業様については、来場された多くの個人投資家の皆様への投票により、特に優れた IR コミュニケーションを実践している企業として高く評価いただいたものです。「プレゼンテーション」「展示・パネル」「ブース」３部門および「グランプリ」受賞企業様の取り組みについて、当日の模様とともにご紹介いたします。

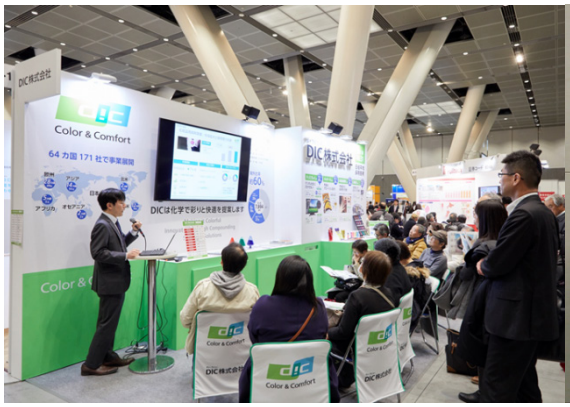
受賞企業様のご紹介

※各社法人格は省略させていただいております。

【グランプリ】日本ハム様

『展示・パネル部門』でアウォード受賞となった昨年に引き続き、2 年連続での出展となりました。前年を超える『グランプリ』を目標とし、会場でのアンケートを基に課題を抽出。自社が今、来場者に伝えるべきことや、投資家の皆様が知りたがっていることの綿密な分析が、プレゼンテーションやブースづくりに至るまで随所に活用されていました。コミュニケーション力高いブース運営は多くの投資家の皆様の興味・関心を惹き、有用な対話の機会となったことが高い評価につながりました。

【プレゼンテーション部門】DIC 様



プレゼンテーションでは訴求ポイントを的確にシナリオ化。一般的にはわかりづらい自社製品の用途をイラストを用いて解説したり、成長戦略を過去・現在・未来のタイムラインで見せながら説明したりするなど、個人投資家の皆様の理解を促進しやすい工夫がなされていました。また、プレゼン中にブランド CM の映像も駆使しながら、同社の特長や強みが効果的にアピールされていました。

【展示・パネル部門】野村不動産ホールディングス様

壁面には LED パネルを多数掲示。通りすがりの方にも野村不動産が手掛ける物件が自然と目に飛び込んでくるよう、視認性を高める工夫を凝らしたことが高評価につながりました。プレゼンテーションはもちろんのこと、ブース内を見学するだけでも同社を理解できるように考えられたわかりやすく、ストーリー性の高い展示・パネルの工夫が個人投資家の目を惹き、対話を活性化させていました。

【ブース部門】ロート製薬様

ブース内でのプレゼンテーションでは、通常の説明に加えて個人投資家の皆様にも役立てていただけるお手軽スキンケアレッスンなど、自社の顔である「商品」の紹介を通じて事業や戦略を実感していただけるブランド力を活かしたブースづくりが好評価に。投資家との距離を縮めるコミュニケーション手法の工夫が際立ちました。